

日本電気技術規格委員会 平成29年度 事業報告

平成30年6月5日

日本電気技術規格委員会

# 目 次

1. 概 要 .....	1
2. 日本電気技術規格委員会 .....	2
(1) 委員会活動 .....	2
(2) 広報活動 .....	3
(3) 規格の国際統合化, 国際協力 .....	3
3. 運営会議及び技術会議活動 .....	4
4. 専門部会との関係について .....	4
5. 外部問い合わせ対応 .....	5
6. 委員会の実施状況 .....	5
6.1 日本電気技術規格委員会 .....	5
6.2 運営会議 .....	9
6.3 技術会議 .....	9
表-1 日本電気技術規格委員会 委員名簿 .....	12
表-2 日本電気技術規格委員会 運営会議・技術会議委員名簿 .....	13
表-3 平成29年度 日本電気技術規格委員会承認実績 .....	14
表-4 平成29年度 日本電気技術規格委員会専門部会別承認件数 .....	15
図-1 平成29年度 日本電気技術規格委員会専門部会別承認件数 .....	15
図-2 平成25～29年度 日本電気技術規格委員会承認件数 .....	15
表-5 国で検討中の要請案件と平成29年度改正案件一覧 .....	16
表-6 2018年日本電気技術規格功績賞表彰者 .....	18
表-7 電気設備に係わるIEC委員会（平成29年度） .....	19
表-8 平成29年度 日本電気技術規格委員会宛 問い合わせリスト .....	20
参考-1 各専門部会における平成29年度の実績 .....	31
参考-2 平成29年度の電気事業法の技術基準の改正情報 .....	34

(平成29年度事業計画を□□で囲って記載した。)

## 1. 概 要

### 【平成29年度事業計画】

日本電気技術規格委員会（以下、JESCという。）は、平成9年の発足以来、電気工作物の保安、公衆の安全及び電気関連事業の一層の効率化に資することを目的に、公平性、中立性、透明性のある民間の組織として、民間規格の審議・承認や技術基準等に関する国への提言などの活動を行い、着実な成果を上げてきた。

平成29年度は、これらの活動を継続して行い、国から提示された民間規格評価機関としての要件を満足し、評価活動に係る品質向上を図り、一層権威ある評価機関を目指すとともに、国の技術基準の性能規定化検討調査に伴い必要となる対応策等を検討する。

また、表彰制度により、委員会の業務や規格の策定等に功績があった人を表彰し、委員会活動を奨励する。

### 【事業報告】

平成29年度は、委員会を5回開催し、民間自主規格4件、引用要請4件、改正要請3件の計11件を承認した。

引用要請又は技術基準の解釈等の改正要請を過去行った案件中、電技解釈の改正要請や引用要請計4件が反映された。

2018年JESC功績賞1件の表彰者2名を、平成30年3月開催の第95回JESCで決定し表彰した。

## 2. 日本電気技術規格委員会

### (1) 委員会活動

#### 【平成29年度事業計画】

平成29年度は、5回の委員会開催を予定し以下の活動を行う。

#### ① 民間規格の審議・承認および国の技術基準等への民間意見の反映

各専門部会等より上程される案件について、審議・承認する。

国への要請案件については、関係官庁に対して迅速な提案を行い、要請した案件については反映状況をフォローし要請の早期実現を図る。

平成29年度は、8件の案件について評価を行う計画である。

- ・ 民間で自主的に使用する規格 4件
- ・ 審査基準(解釈)への引用規格 2件  
(他に引用規格の内容確認のみの報告案件 2件(6規格))
- ・ 技術基準等の改正要請 2件

#### ② 日本電気技術規格功績賞による委員会活動の奨励

平成23年度に設けた表彰制度により、2018年JESC功績賞の表彰を年度末に行い、委員会活動を奨励する。

#### 【事業報告】

平成29年度は、委員会を5回開催し、以下の活動を行った。

#### ① 民間規格の審議・承認および国の技術基準等への民間意見の反映

9専門部会から上程された案件を審議し11件を承認した。承認した案件の内訳は、以下のとおりである。また、承認した計7件の引用要請、改正要請を行った。

- ・ 民間で自主的に使用する規格 4件
- ・ 審査基準(解釈)引用規格の引用要請 4件  
(他に引用規格の内容確認のみの報告案件 1件(5規格))
- ・ 技術基準等の改正要請 3件

表-3に平成29年度の承認実績を、表-4及び図-1に専門部会別の承認件数を、図-2に平成25～29年度の承認件数を示す。

要請を行った案件計4件が平成29年度に反映された。内訳は、以下のとおりである。

- ・ 電技解釈引用規格の引用要請 3件(需要設備専門部会、配電専門部会)
- ・ 電技解釈の改正要請 1件(需要設備専門部会)

この結果、国で検討中の要請案件は、電技解釈関係8件、火技解釈関係3件、水技解釈関係1件、溶接事業者検査ガイド関係1件となった。(表-5参照)

#### ② 日本電気技術規格功績賞による委員会活動の奨励

平成30年3月6日開催の第95回JESCで、2018年JESC功績賞1件の表彰者2名を決定し表彰した。(表-6参照)

また、電気施設等の保安規制の合理化検討に係る調査（電気設備に関する技術基準の性能規定化検討調査）の報告を受けて、質疑応答を行った。

参考-2に、平成29年度の電気事業法の技術基準の改正情報を示す。

表-1に、平成30年3月31日現在の日本電気技術規格委員会委員名簿を示す。

## (2) 広報活動

### 【平成29年度事業計画】

#### ① 委員会の情報公開

インターネットホームページの活用等による委員会の情報公開により、活動の透明性を確保し、また、規格利用者への更なるサービス向上を図る。

#### ② WTO/TBTに係る通報、公表等への対応

WTO/TBT協定の「適正実施規準」の受入れに関し国内外の動向等を考慮しつつ、必要に応じ対応する。

### 【事業報告】

#### ① 委員会の情報公開

事業計画、事業報告、審議概要、JESC承認規格、技術基準等の改正情報、委員会開催予定など、委員会の情報をJESCのホームページで公開した。評価案件の審議・評価予定について、電気新聞及びJESCのホームページに公告として掲載した。

#### ② WTO/TBTに係る通報、公表等への対応

WTO/TBTに係る通報、公表等については、特に対応するものは無かった。

## (3) 規格の国際整合化、国際協力

### 【平成29年度事業計画】

規格の評価においては、民間規格の国際整合化に配慮するとともに、必要に応じ諸外国と規格策定に関する協力を図る。

また、IEC委員会の活動状況を年度末のJESCで担当団体より報告を受け、必要に応じ対応する。

### 【事業報告】

平成30年3月6日開催の第95回JESCで、今後の国際整合化に関するJESCの活動に資するため、電気設備に係わるIEC委員会の各担当団体（表-7参照）の平成29年度の活動状況の報告を受けた。

### 3. 運営会議及び技術会議活動

#### 【平成29年度事業計画】

- (1) 事業計画案及び事業報告案を作成し、JESCに付議する。
- (2) 事業計画に基づく予算、決算の審議、承認及び機構の運営に関する審議を行う。
- (3) 専門部会等が作成した民間規格案や国への要請案件に対して、JESCの評価に必要な論点を議論し、JESCに報告する。
- (4) 専門部会等が作成した民間規格案や国への要請案件の、外部の意見を聞く手続きの実施について審議、承認する。
- (5) 必要に応じ、複数の団体に関連する事項等について審議・調整を行い、また、各団体に対し民間規格の作成に係る事前の意向調査を行う。
- (6) 国の技術基準の性能規定化検討調査に伴い、更なる明確化が検討されている民間規格評価機関の要件等の内容を踏まえて、必要となる対応策案等を作成し、JESCに上程する。

#### 【事業報告】

運営会議を3回開催し、平成28年度事業報告（案）及び平成29年度事業計画（案）についてJESCへ上程することを了解し、平成28年度決算（案）及び平成29年度予算（案）を承認した。

技術会議を5回開催し、専門部会からJESCへの上程案件を審議し、委員会審議のための論点を抽出し、外部の意見を聞く手続きの実施を承認した。

また、電気施設等の保安規制の合理化検討に係る調査（電気設備に関する技術基準の性能規定化検討調査）の報告を受けて、質疑応答を行った。

表-2に、平成30年3月31日現在の運営会議・技術会議委員名簿を示す。

### 4. 専門部会との関係について

#### 【平成29年度事業計画】

審議案件について、専門部会との連絡を密にし、JESCへの円滑な上程を支援するとともに、国への要請案件については、技術基準等に速やかに反映されるよう所要の活動を行う。

#### 【事業報告】

専門部会は、以下のように開催された。

- ・ 水力専門部会（1回）
- ・ 火力専門部会（1回）
- ・ 原子力発電耐震設計専門部会（休会）
- ・ 送電専門部会（1回）
- ・ 発電専門部会（1回）
- ・ 配電専門部会（1回）
- ・ 需要設備専門部会（1回）
- ・ 高調波抑制対策専門部会（1回）

- ・ 系統連系専門部会（1回）
- ・ 水門扉専門部会（休会）
- ・ 水圧鉄管専門部会（1回）
- ・ 溶接及び接合専門部会（休会）
- ・ 溶接専門部会（2回）
- ・ 個別施設設備専門部会（休会）
- ・ 情報専門部会（0回）

各専門部会における平成29年度の実績を参考-1に示す。

## 5. 外部問い合わせ対応

JESCに対する外部からの問い合わせに対応した。問い合わせ件数は、平成28年度が83件に対し、平成29年度は39件であった。内訳は、公衆審査資料請求が3件、規格購入先・入手方法などの問い合わせやJESC規格以外の規格などに関するその他問い合わせが9件あり、JESC規格の内容についての問い合わせは27件であった。

（表-8参照）

## 6. 委員会の実施状況

### 6.1 日本電気技術規格委員会

#### (1) 第91回委員会：平成29年6月7日開催

- ① 委員長及び委員長代理を互選により選任した。
- ② 前回（第90回）日本電気技術規格委員会議事要録案の確認を行い承認した。
- ③ 平成28年度事業報告及び平成29年度事業計画について審議し承認した。
- ④ 平成28年度決算及び平成29年度予算について報告が行われた。
- ⑤ 配電専門部会：「配電規程（低圧及び高圧）」（JESC E0004(2012)）の改定について審議し承認した。

<趣旨，目的，内容等>

「配電規程（低圧及び高圧）」は、（一社）日本電気協会の電気技術規程（JEAC 7001）として昭和46年に制定されて以来、配電設備の設計、工事、検査及び保守の業務に従事する人が保安上守るべき技術的事項を定めた民間自主規格として活用されており、平成11年7月に日本電気技術規格委員会の規格（JESC E0004）として承認された。

今回の改定は、現行の電気設備の技術基準の解釈の内容と、日本電気技術規格委員会規格（JESC）・JIS等の最新規格や新たな知見等を反映するものである。

- ⑥ 火力専門部会／溶接専門部会：火技解釈の改正要請について審議し承認した。

<趣旨，目的，内容等>

火技解釈に引用されているJIS B 8267（2008）「圧力容器の設計」について、最新の2015年版を引用するよう火技解釈の改正要請を行うものである。

- ⑦ 平成29年度電気施設等の保安規制の合理化検討に係る調査（電気設備に関

する技術基準の性能規定化検討調査) について報告が行われた。

- ⑧ 平成28, 29年度に国へ要請した案件及び検討中の案件の状況について報告が行われた。
- ⑨ 第90回JESCでの委員長確認事項について報告が行われた。
- ⑩ 委員会関連文書の送付手段の変更について報告が行われた。

## (2) 第92回委員会：平成29年7月26日開催

- ① 前回(第91回)日本電気技術規格委員会議事要録案の確認を行い承認した。
- ② 発変電専門部会：「発変電規程」(JESC E0003(2012)) の改定について審議し承認した。

<趣旨, 目的, 内容等>

「発変電規程」は、電気事業法に基づく技術基準を補完する、(一社)日本電気協会の電気技術規程(JEAC 5001)として昭和47年に制定されて以来、発変電設備の保安確保のための維持基準として広く関係方面で活用されてきた。

今回の改定は、前回の改定から約5年が経過するため、電気事業法等の関係法令や、関連するJESC・JEC・JIS規格の改正内容の反映等を行うものである。

- ③ 送電専門部会：「電力保安通信規程」(JESC E0009(2013))の改定について審議し承認した。

<趣旨, 目的, 内容等>

「電力保安通信規程」は、電気事業法に基づく技術基準を補完する、(一社)日本電気協会の電気技術規程(JEAC 6011)として昭和45年に制定されて以来、電気事業用及び自家用電力保安通信設備の保安確保のための維持基準として広く関係方面で活用されてきた。

今回の改定は、前回の改定から約5年が経過するため、電気設備の技術基準の解釈、電気事業法等の関係法令、関連するJEC・JIS規格等の改正内容の反映や、電子応用設備のレーダー方式(FMCW方式)の種類追加など、新たな知見の反映を行うものである。

- ④ 平成29年度電気施設等の保安規制の合理化検討に係る調査(電気設備に関する技術基準の性能規定化検討調査)について報告が行われた。
- ⑤ 平成28, 29年度に国へ要請した案件及び検討中の案件の状況について報告が行われた。

## (3) 第93回委員会：平成29年10月3日開催

- ① 前回(第92回)日本電気技術規格委員会議事要録案の確認を行い承認した。
- ② 送電専門部会：「架空電線路の支持物に施設する支線へのワイヤロープの適用」(JESC E3003(2013))の改定について審議し承認した。

<趣旨, 目的, 内容等>

本JESC規格は、架空電線路の支持物として使用する鉄塔、鉄柱又は鉄筋コンクリート柱に施設する支線に、ワイヤロープを適用する場合の要件を規定しており、電技解釈第133条に本規格の内容が反映されている。



今回見直しを行った結果、引用JIS規格の改正を反映する必要があるため改定し、電技解釈の改正要請を行うものである。

③ 配電専門部会/送電専門部会：「橋又は電線路専用橋等に施設する電線路の離隔要件」（JESC E2016(2006)）の改定について審議し承認した。

<趣旨、目的、内容等>

本JESC規格は、橋又は電線路専用橋等に施設する高圧電線路又は特別高圧電線路の電線を収める管又はトラフが、その橋又は電線路専用橋等に施設する他物と接近又は交さする場合の離隔要件を規定しており、電技解釈第129条、第130条に引用されている。

今回見直しを行った結果、平成28年9月の電技解釈の改正を反映する必要があるため改定し、電技解釈への引用要請を行うものである。

④ 送電専門部会：電気設備の技術基準の解釈に引用されているJESC規格の内容確認について報告が行われた。

- ・「特別高圧架空電線路に使用する鉄塔の径間制限」（JESC E2003）
- ・「特別高圧架空電線路を市街地等に施設する場合の施設要件」（JESC E2010）
- ・「電線の安全率算定に適用する風圧荷重」（JESC E2013）
- ・「地中電線路管路の設置に関する取り扱い」（JESC E6006）
- ・「地中電線と地中弱電流電線等を直接屋内に引込む場合の相互の離隔距離」（JESC E2009）

⑤ 平成29年度電気施設等の保安規制の合理化検討に係る調査（電気設備に関する技術基準の性能規定化検討調査）について報告が行われた。

⑥ 平成28、29年度に国へ要請した案件及び検討中の案件の状況について報告が行われた。

⑦ 第92回JESC委員長確認事項について報告が行われた。

(4) 第94回委員会：平成29年12月5日開催

① 前回(第93回)日本電気技術規格委員会議事要録案の確認を行い承認した。

② 水力専門部会：JESC H3004「水路に使用する樹脂管（一般市販管）及びその許容応力」の改定と水技解釈への引用要請について審議し承認した。

<趣旨、目的、内容等>

本JESC規格は、露出または土中埋設形式の水圧管として水路に使用する樹脂管（一般市販管）の材料と許容応力を規定しており、水技解釈に引用されている。

今回見直しを行った結果、引用規格の改正の反映等が必要であるため改定し、水技解釈への引用要請を行うものである。

③ 火力原子力発電技術協会民間製品認証規格（火力）改訂部会：「電気工作物の溶接部に関する民間製品認証規格（火力）」（TNS-S3101-2011）の改訂と「電気事業法第52条に基づく火力設備に対する溶接事業者検査ガイド」への引用要請について審議し承認した。

<趣旨、目的、内容等>

本規格は、電気工作物の火力及び燃料電池発電用火力機器の溶接部を適用範囲として、公平かつ専門性の高い民間製品認証機関が溶接施工工場の製造（溶接部）の認証を行うための評価基準及び要領を示したものである。また、本規格については、溶接事業者検査への活用が認められており、溶接事業者検査ガイドに引用されている。

今回、本規格を改訂したため、溶接事業者検査ガイドへの引用要請を行うものである。

- ④ 平成29年度電気施設等の保安規制の合理化検討に係る調査（電気設備に関する技術基準の性能規定化検討調査）について報告が行われた。
- ⑤ 表彰委員会の主査について報告が行われた。
- ⑥ 平成28, 29年度に国へ要請した案件及び検討中の案件の状況について報告が行われた。

(5) 第95回委員会：平成30年3月6日開催

- ① 前回（第94回）日本電気技術規格委員会議事要録案の確認を行い承認した。
- ② 系統連系専門部会：「系統連系規程」（JESC E0019（2016））の一部改定について審議し承認した。

<趣旨、目的、内容等>

「系統連系規程」（JESC E0019(2016)）は、分散型電源の系統連系関係の業務に従事される方々が系統連系に関する協議を円滑に進められるよう、「電気設備の技術基準の解釈」及び「電力品質確保に係る系統連系技術要件ガイドライン」の内容をより具体的に定めた民間自主規格である。

今回の一部改定では、平成29年度の検討項目である以下の事項を反映した。

- ・ 低圧連系における自動電圧調整装置の機能例の見直し
- ・ 新型能動的方式に係る規定の追加

- ③ 日本機械学会発電用設備規格委員会：「発電用火力設備規格基本規定」（JESC T/W0005（2012））の一部改定及び国への活用要請について審議し承認した。

<趣旨、目的、内容等>

「発電用火力設備規格基本規定」（JESC T/W0005（2012）, 追補版（2015）を含む）は、発電用火力設備に関する技術基準を定める省令（H9通産省令第51号）の「第2章ボイラー等及びその附属設備」および「第10章溶接部」に適合する民間規格であり、火技解釈に取り入れられている。

今回の一部改定では、最新の知見を反映し、発電用火力設備に使用される各種高クロム鋼に関し、許容引張応力と溶接継手強度低減係数を見直すとともに、クリープ寿命評価に適用するための寿命評価式を規定し、国に審査基準としての活用を要請するものである（2017年追補）。

- ④ 溶接専門部会：火技解釈第10章溶接部の改正要請について審議し承認した。

<趣旨、目的、内容等>

火技解釈第10章溶接部に関する改正要望について技術的事項の検討を行い、技術的妥当性があると判断された「フレキシブルメタルホースに係る溶接部

の設計の追加」について、火技解釈の改正要請を行うものである。

- ⑤ 2018年JESC功績賞について審議し承認した。
- ⑥ 電気設備にかかわるIEC委員会の状況について報告が行われた。
- ⑦ 平成29年度電気施設等の保安規制の合理化検討に係る調査（電気設備に関する技術基準の性能規定化検討調査）について報告が行われた。
- ⑧ 平成28, 29年度に国へ要請した案件及び検討中の案件の状況について報告が行われた。

## 6.2 運営会議

(1) 第14回運営会議：平成29年4月25日開催

- ① 前回（第13回）運営会議議事要録（案）の確認を行い承認した。
- ② 平成28年度事業報告及び平成29年度事業計画についてJESCに付議することを了解した。
- ③ 平成28年度決算及び平成29年度予算について審議し承認した。
- ④ 平成28年度電気施設保安制度等検討調査（電気設備に関する技術基準の性能規定化検討調査）報告書の内容について報告が行われた。

(2) 第15回運営会議：平成29年6月21日開催

- ① 前回（第14回）運営会議議事要録（案）の確認を行い承認した。
- ② 平成29年度電気施設等の保安規制の合理化検討に係る調査（電気設備に関する技術基準の性能規定化検討調査）について報告が行われた。

(3) 第16回運営会議：平成30年1月16日開催

- ① 前回（第15回）運営会議議事要録（案）の確認を行い承認した。
- ② 平成29年度電気施設等の保安規制の合理化検討に係る調査（電気設備に関する技術基準の性能規定化検討調査）について報告が行われた。

## 6.3 技術会議

(1) 第54回技術会議：平成29年4月25日開催

- ① 前回（第53回）技術会議議事要録（案）の確認を行い承認した。
- ② 以下の案件の技術的論点を整理し、外部の意見を聞く手続きを実施することを承認した。
  - ・配電専門部会：「配電規程（低圧及び高圧）」（JESC E0004(2012)）の改定について
  - ・火力専門部会／溶接専門部会：火技解釈の改正要請について

(2) 第55回技術会議：平成29年6月21日開催

- ① 前回（第54回）技術会議議事要録（案）の確認を行い承認した。
- ② 以下の案件の技術的論点を整理し、外部の意見を聞く手続を実施することを承認した。

- ・発変電専門部会：「発変電規程」(JESC E0003(2012))の改定について
  - ・送電専門部会：「電力保安通信規程」(JESC E0009(2013))の改定について
- ③ 平成28, 29年度に国へ要請した案件及び検討中案件のその後の状況について報告が行われた。

(3) 第56回技術会議：平成29年8月3日開催

- ① 前回(第55回)技術会議議事要録(案)の確認を行い承認した。
- ② 以下の案件の技術的論点を整理し、外部の意見を聞く手続きを実施することを承認した。
- ・送電専門部会：「架空電線路の支持物に施設する支線へのワイヤーロープの適用」(JESC E3003(2013))の改定について
  - ・送電専門部会/配電専門部会：「橋又は電線路専用橋等に施設する電線路の離隔要件」(JESC E2016(2006))の改定について
- ③ 平成29年度電気施設等の保安規制の合理化検討に係る調査(電気設備に関する技術基準の性能規定化検討調査)について報告が行われた。
- ④ 平成28, 29年度に国へ要請した案件及び検討中案件のその後の状況について報告が行われた。

(4) 第57回技術会議：平成29年10月24日開催

- ① 前回(第56回)技術会議議事要録(案)の確認を行い承認した。
- ② 以下の案件の技術的論点を整理し、外部の意見を聞く手続きを実施することを承認した。
- ・水力専門部会：JESC H3004「水路に使用する樹脂管(一般市販管)及びその許容応力」の改定と水技解釈への引用要請について
  - ・火力原子力発電技術協会民間製品認証規格(火力)改訂部会：「電気工作物の溶接部に関する民間製品認証規格(火力)」(TNS-S3101-2011)の改訂と「電気事業法第52条に基づく火力設備に対する溶接事業者検査ガイド」への引用要請について
- ③ 平成29年度電気施設等の保安規制の合理化検討に係る調査(電気設備に関する技術基準の性能規定化検討調査)について報告が行われた。
- ④ 平成28, 29年度に国へ要請した案件及び検討中案件のその後の状況について報告が行われた。

(5) 第58回技術会議：平成30年1月16日開催

- ① 前回(第57回)技術会議議事要録(案)の確認を行い承認した。
- ② 以下の案件の技術的論点を整理し、外部の意見を聞く手続きを実施することを承認した。
- ・系統連系専門部会：「系統連系規程」(JESC E0019(2016))の一部改定について
  - ・日本機械学会発電用設備規格委員会：「発電用火力設備規格基本規定」(JESC

T/W0005 (2012) ) の一部改定及び国への活用要請について

・溶接専門部会：火技解釈第10 章溶接部の改正要請について

- ③ 平成28, 29年度に国へ要請した案件及び検討中案件のその後の状況について報告が行われた。

表-1 日本電気技術規格委員会 委員名簿（平成30年3月31日現在）

[順不同，敬称略]

委員区分	委員名	勤務先	所 属
委員長	横山 明彦	東京大学 大学院	新領域創成科学研究科 先端 エネルギー工学専攻 教授
委員長 代 理	大崎 博之	東京大学 大学院	新領域創成科学研究科 先端 エネルギー工学専攻 教授
委 員	金子 祥三	東京大学	生産技術研究所 エネルギー工学 連携研究センター 研究顧問
委 員	栗原 郁夫	一般財団法人 電力中央研究所	研究アドバイザー
委 員	國生 剛治	中央大学	名誉教授
委 員	野本 敏治	東京大学	名誉教授
委 員	望月 正人	大阪大学 大学院	工学研究科 マテリアル生産科学 専攻 教授
委 員	横倉 尚	武蔵大学	名誉教授
委 員	吉川 榮和	京都大学	名誉教授
委 員	今井 澄江	神奈川県消費者の会連絡会	代表理事
委 員	大河内 美保	主婦連合会	参与
委 員	押部 敏弘	一般財団法人 発電設備技術検 査協会	常務理事
委 員	木戸 啓人	電気事業連合会	工務部長
委 員	後藤 清	一般社団法人 電気設備学会	副会長
委 員	五来 高志	一般社団法人 日本電線工業会	技術部長
委 員	酒井 祐之	一般社団法人 電気学会	専務理事
委 員	高島 賢二	一般社団法人 電力土木技術協 会	専務理事
委 員	武部 俊郎	東京電力ホールディングス株式 会社	技監
委 員	田中 一彦	一般社団法人 日本電機工業会	技術部長 兼 標準化推進 センター長
委 員	土井 義宏	関西電力株式会社	代表取締役 副社長執行役員
委 員	中澤 治久	一般社団法人 火力原子力発電 技術協会	専務理事
委 員	西村 松次	一般社団法人 日本電設工業協 会	副会長 技術・安全委員長
委 員	松浦 昌則	中部電力株式会社	代表取締役 副社長執行役員
委 員	松尾 清一	電気保安協会全国連絡会	事務局長
顧 問	関根 泰次	東京大学	名誉教授
顧 問	日高 邦彦	東京大学 大学院	工学系研究科 電気系工学専攻 教授
幹 事	吉岡 賢治	一般社団法人 日本電気協会	総括参事

表-2 日本電気技術規格委員会 運営会議・技術会議委員名簿（平成30年3月31日現在）

[順不同，敬称略]

委員区分	委員名	勤務先	所 属
委 員	福元 誠悟	大口自家発電施設者懇話会	常務理事（JXTG エネルギー（株））
委 員	高木 愛夫	（一社）火力原子力発電技術協会	理事 技術部長
委 員	三野 晋哉	建設業電気保安技術協議会	会長（大豊建設（株） 東京支店
委 員	日向 一郎	公営電気事業経営者会議	会長（山梨県企業局 技監）
委 員	石井 勝則	全国電気管理技術者協会連合会	専務理事
委 員	野田 隆司	全日本電気工事業工業組合連合会	常任理事
委 員	渡邊 昌人	（一社）送電線建設技術研究会	専務理事
委 員	浜中 浩樹	（一社）電気学会	標準化推進室長
委 員	小川 洋一	（一財）電気技術者試験センター	工事士試験部長
委 員	岡野 忠幸	（一財）電気工事技術講習センター	総務部長 兼 業務部長
委 員	木戸 啓人	電気事業連合会	工務部長
委 員	森田 潔	（一社）電気設備学会	専務理事
委 員	松尾 清一	電気保安協会全国連絡会	事務局長
委 員	西林 寿治	電源開発（株）	水力発電部 審議役
委 員	高島 賢二	（一社）電力土木技術協会	専務理事
委 員	友澤 靖嗣	（一社）日本ガス協会	エネルギーシステム部 技術対応グループ マネジャー
委 員	松浦 弘之	（一社）日本ガス石油機器工業会	事務局長
委 員	原 一夫	（一社）日本機械学会	発電用設備規格担当
委 員	中越 哲浩	（一社）日本原子力学会	標準委員会事務局
委 員	小野 弘之	日本原子力発電（株）	発電管理室設備管理 グループ 課長
委 員	山崎 史郎	（一社）日本建設業連合会	土木第二部長
委 員	畑岸 真人	（一社）日本高圧力技術協会	事務局長
委 員	丸山 公明	（一社）日本鉄塔協会	専務理事
委 員	相浦 孝範	（一社）日本鉄道電気技術協会	事業部担当部長
委 員	荒川 嘉孝	（一社）日本電気協会	技術部長
委 員	加曾利 久夫	日本電気計器検定所	検定管理部長
委 員	吉田 孝一	（一社）日本電機工業会	技術部次長
委 員	中山 伸二	（一社）日本電設工業協会	常務理事
委 員	五来 高志	（一社）日本電線工業会	技術部長
委 員	松村 徹	（一社）日本電力ケーブル接続技術協会	専務理事
委 員	田村 勉	（一社）日本内燃力発電設備協会	技術担当部長
委 員	澁江 伸之	（一社）日本配線システム工業会	専務理事
委 員	横野 泰和	（一社）日本非破壊検査協会	顧問
委 員	海津 信廣	（一社）日本風力発電協会	事務局 部長
委 員	石出 博俊	（一社）日本溶接協会	事業部 主管
委 員	佐藤 長光	（一財）発電設備技術検査協会	規格基準室長
幹 事	吉岡 賢治	（一社）日本電気協会	総括参事

表-3 平成29年度 日本電気技術規格委員会承認実績

番号	依頼元	JESC 番号	件 名	区分	JESC承認
1	配電	E0004	「配電規程（低圧及び高圧）」の改定	自主規格	第91回JESC (H29. 6. 7)
2	火力/ 溶接	—	火技解釈第2, 6, 7, 10章の改正要請	改正要請	第91回JESC (H29. 6. 7)
3	発電電	E0003	「発電電規程」の改定	自主規格	第92回JESC (H29. 7. 26)
4	送電	E0009	「電力保安通信規程」の改定	自主規格	第92回JESC (H29. 7. 26)
5	送電	—	電技解釈第133条の改正要請（JESC E3003「架空電線路の支持物に施設する支線へのワイヤロープの適用」の改定に伴う要請）	改正要請	第93回JESC (H29. 10. 3)
6	送電/ 配電	E2016	「橋又は電線路専用橋等に施設する電線路の離隔要件」の改定	引用要請	第93回JESC (H29. 10. 3)
7	水力	H3004	「水路に使用する樹脂管（一般市販管）及びその許容応力」の改定	引用要請	第94回JESC (H29. 12. 5)
8	火力原子 力発電技 術協会	T0007	「電気工作物の溶接部に関する民間製品認証規格（火力）」の改訂と「電気事業法第52条に基づく火力設備に対する溶接事業者検査ガイド」への引用要請	引用要請	第94回JESC (H29. 12. 5)
9	系統 連系	E0019	「系統連系規程」の一部改定（追補版2件）	自主規格	第95回JESC (H30. 3. 6)
10	日本機械 学会	T/W0005	「発電用火力設備規格基本規定」（JESC T/W0005（2012））の一部改定	引用要請	第95回JESC (H30. 3. 6)
11	溶接	—	火技解釈第10章「溶接部」の改正要請	改正要請	第95回JESC (H30. 3. 6)
（以下、引用規格の内容確認のみの報告案件）					
1	送電	E2003	「特別高圧架空電線路に使用する鉄塔の径間の制限」	引用 確認	第93回JESC (H29. 10. 3)
		E2010	「特別高圧架空電線路を市街地等に施設する場合の施設要件」		
		E2013	「電線の安全率算定に適用する風圧荷重」		
		E6006	「地中電線用管路の接地に関する取り扱い」		
		E2009	「地中電線と地中弱電流電線等を直接屋内に引込む場合の相互の離隔距離」		

依頼元：依頼専門部会名または関係団体名を記載

JESC番号：引用規格又は自主規格のJESC番号を記載

区分：自主規格，改正要請，引用規格の要請又は引用規格の確認の区別を記載



表-4 平成29年度 日本電気技術規格委員会専門部会別承認件数

専門部会・関係団体	自主規格	引用要請	改正要請	合計	引用規格内容確認(報告案件)
水力専門部会	-	1	-	1	-
火力専門部会/溶接専門部会	-	-	1	1	-
送電専門部会	1	-	1	2	1 (5規格)
送電専門部会/配電専門部会	-	1	-	1	-
発電専門部会	1	-	-	1	-
配電専門部会	1	-	-	1	-
系統連系専門部会	1	-	-	1	-
溶接専門部会	-	-	1	1	-
火力原子力発電技術協会	-	1	-	1	-
日本機械学会	-	1	-	1	-
合計	4	4	3	11	-

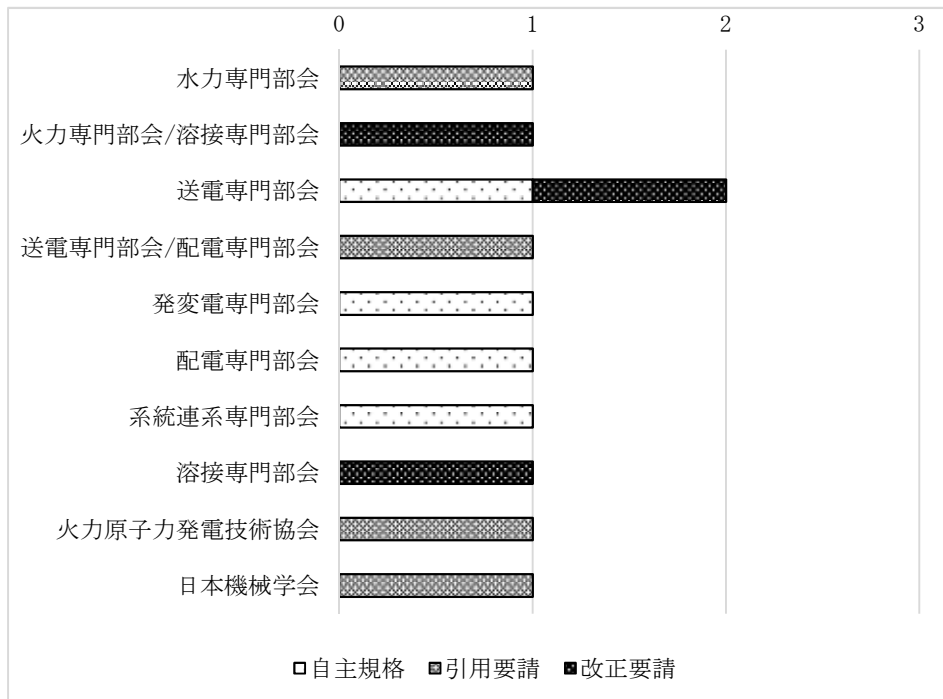


図-1 平成29年度 日本電気技術規格委員会専門部会別承認件数

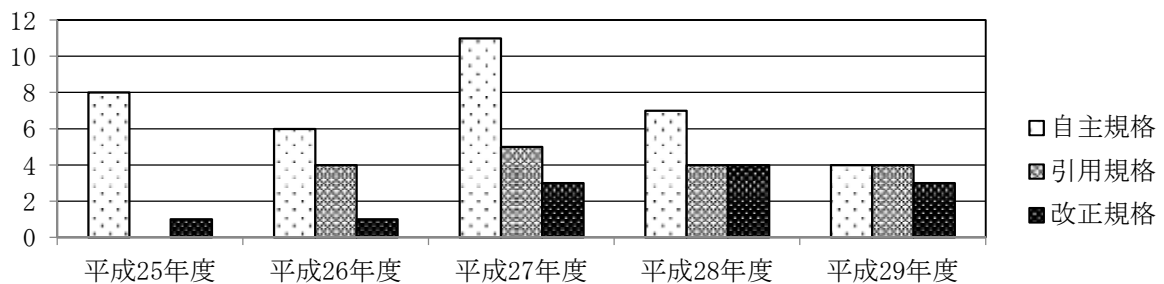


図-2 平成25～29年度 日本電気技術規格委員会承認件数

表-5 国で検討中の要請案件と平成29年度改正案件一覧（平成30年3月31日現在）

	設備区分	担当部会	JESC番号	規格名	JESC承認日	関連基準条項	METIへの提案日	状況	備考
17-1	電気設備	配電専門部会	JESC E2005 (2005)	低圧引込線と他物との離隔距離の特例」のJESC規格改定及び電技解釈第97条【低圧引込線の施設】に係わる引用要請	2005.9.29 (第37回委員会)	電技解釈 第97条	日電規委17第052号 H18.3.15		経済産業省に要請書を提出、現在検討中。(経産省—総務省で調整中)(電気事業者—通信事業者間でも調整中)
17-3	電気設備	配電専門部会	JESC E2015 (2005)	「低圧又は高圧の地中電線と地中弱電流電線等との地中箱内における離隔距離」のJESC規格の策定及び電技解釈第139条【地中電線と地中弱電流電線等又は管との接近又は交差】に係る引用要請	2005.9.29 (第37回委員会)	電技解釈 第139条	日電規委17第054号 H18.3.15		経済産業省に要請書を提出、現在検討中。(経産省—総務省で調整中)(電気事業者—通信事業者間でも調整中)
17-4	電気設備	配電専門部会	—	電気設備の技術基準の解釈第152条【臨時電線路の施設】に係わる改正要請	2005.9.29 (第37回委員会)	電技解釈 第152条	日電規委17第055号 H18.3.15		経済産業省に要請書を提出、現在検討中。(経産省—総務省で調整中)(電気事業者—通信事業者間でも調整中)
18-3	電気設備	配電専門部会	—	電気設備の技術基準の解釈第88条【低高圧架空電線と架空弱電流電線等との共架】の改正要請の提出について	2006.11.24 (第44回委員会)	電技解釈 第88条	日電規委18第035号 H18.12.4		経済産業省に要請書を提出、現在検討中。(経産省—総務省で調整中)(電気事業者—通信事業者間でも調整中)
28-1	電気設備	需要設備専門部会	—	電気設備の技術基準の解釈第143条【電路の対地電圧の制限】他の改正要請	2016.5.30 (第86回委員会)	電技解釈 第143条他	日電規委28第0010号 H28.6.22	改正済み	平成29年8月14日改正。
28-2	電気設備	需要設備専門部会	JESC E6003 (2016)	「興行場に施設する使用電圧が300Vを超える低圧の舞台機構設備の配線」の引用要請	2016.5.30 (第86回委員会)	電技解釈 第172条	日電規委28第0011号 H28.6.22	改正済み	平成29年8月14日改正。
28-4	電気設備	発電専門部会	—	電気設備の技術基準の解釈第16条【機械器具等の電路の絶縁性能】の改正要請	2016.7.28 (第87回委員会)	電技解釈 第16条	日電規委28第0019号 H28.8.3		経済産業省に要請書を提出、現在検討中。
28-5	電気設備	送電専門部会	JESC E2012 (2013)	「170kVを超える特別高圧架空電線に関する離隔距離」の引用要請	2013.1.23 (第70回委員会)	電技解釈 第97条他	日電規委28第0020号 H28.8.3		経済産業省に要請書を提出(再要請)、現在検討中。
28-7	電気設備	配電専門部会	JESC E2020 (2016) JESC E2021 (2016)	「耐摩耗性能を有する『ケーブル用防護具』の構造及び試験方法」の引用要請 「臨時電線路に適用する防護具及び離隔距離」の引用要請	2016.12.1 (第89回委員会)	電技解釈 第79条、106条 電技解釈 第133条	日電規委28第0037号 H28.12.19	改正済み	平成29年8月14日改正。
29-1	火力設備	火力専門部会 ／溶接専門部会	—	発電用火力設備の技術基準の解釈の改正要請	2017.6.7 (第91回委員会)	火技解釈 第2章他	日電規委29第0009号 H29.6.26		経済産業省に要請書を提出、現在検討中。
29-2	電気設備	送電専門部会	—	電気設備の技術基準の解釈第133条【臨時電線路の施設】の改正要請	2017.10.3 (第93回委員会)	電技解釈 第133条	日電規委29第0027号 H29.11.13		経済産業省に要請書を提出、現在検討中。
29-3	電気設備	送電専門部会 ／配電専門部会	JESC E2016 (2017)	「橋又は電線路専用橋等に施設する電線路の離隔要件」の引用要請	2017.10.3 (第93回委員会)	電技解釈 第129条、130条	日電規委29第0028号 H29.11.13		経済産業省に要請書を提出、現在検討中。

29-4	水力設備	水力専門部会	JESC H3004 (2017)	「水路に使用する樹脂管(一般市販管)及びその許容応力」の引用要請	2017.12.5 (第94回委員会)	水技解釈 第23.33条	日電規委29第0034号 H29.12.27		経済産業省に要請書を提出, 現在検討中。
29-5	火力設備	民間製品認証規格 (火力)改訂部会	JESC T0007 (2017)	「電気工作物の溶接部に関する民間製品認証規格(火力)」の引用要請	2017.12.5 (第94回委員会)	電気事業法第52条に基づく火力設備 に対する溶接事業者検査ガイド	日電規委29第0035号 H29.12.27		経済産業省に要請書を提出, 現在検討中。
29-6	火力設備	日本機械学会	JESC T/W0005(2012) 追補版(2018)	「発電用火力設備規格 基本規定(2012年版 2017年追補)」の引用要請	2018.3.6 (第95回本委員会)	火技解釈 第167条	日電規委29第0045号 H30.3.30		経済産業省に要請書を提出, 現在検討中。
29-7	火力設備	溶接専門部会	—	発電用火力設備の技術基準の解釈の改正要請	2018.3.6 (第95回本委員会)	火技解釈 第136条他	日電規委29第0046号 H30.3.30		経済産業省に要請書を提出, 現在検討中。

表-6 2018年日本電気技術規格功績賞表彰者

(敬称略)

氏 名	所 属	表 彰 事 由
苅部 賢二	東京電力パワーグリッド(株)	送電専門部会における電力保安通信規程の改定において、通信作業会幹事として中心的な役割を担い、本委員会の活動に大きく寄与した。
河野 弘樹	中部電力(株)	

表-7 電気設備に係わるIEC委員会（平成30年3月31日現在）

IEC TC	名 称	担当団体
4	水車	電気学会
5	蒸気タービン	火力原子力発電技術協会
8	電力供給に関わるシステムアспект	電気学会
11	架空送電線路	電気学会
14	電力用変圧器	電気学会
17	高圧開閉装置及び制御装置	電気学会
20	電力ケーブル	日本電線工業会
28	絶縁協調	電気学会
33	電力用コンデンサ及びその応用技術	電気学会
36	がいし	電気学会
37	避雷器	電気学会
38	計器用変成器	電気学会
42	高電圧・大電流試験技術	電気学会
64	電気設備および感電保護	電気設備学会
82	太陽光発電システム	日本電機工業会
88	風力発電システム	日本電機工業会
99	交流1kV超過・直流1.5kV超過の高電圧電気設備の絶縁協調とシステムエンジニアリング	日本電気協会
105	燃料電池	日本電機工業会
106	人体ばく露に関する電界，磁界及び電磁界の評価方法	電気学会
117	太陽熱発電システム	日本電機工業会

表-8 平成29年度 日本電気技術規格委員会宛 問い合わせリスト

番号	日付	質問者所属	質問対象規格	質問内容	回答	備考
1.	4/14	エクスポー ネット (Exponent)	JESC E0005 内線規程	<p>お世話になります。アメリカのコンサルティング会社Exponentと申します。御社の発行するJESC E0005(2000)規格の英語版を探しているのですが、購入することは可能でしょうか？日本語版はこちらのリンク先で見つけました。英語訳がございましたら、購入先もしくはリンク等お知らせいただければと思います。</p> <p><a href="http://www.jesc.gr.jp/jescassent/private/jesc_e0005_16.html">http://www.jesc.gr.jp/jescassent/private/jesc_e0005_16.html</a></p> <p>お手数おかけしますが、よろしくお願いいたします。</p>	需要設備 専門部会 より回答	その他問 合せ (JESC規 格入手問 合せ)
2.	4/14	東芝プラン トシステム 株式会社	JESC E0005 内線規程	<p>「供給変圧器の二次側端子から最遠端の負荷に至る電線のこう長が60mを超える場合の電圧降下は、前項にかかわらず、負荷電流により計算し1310-1表によることができる。(勧告)」</p> <p>当該条項によると、1310-1表よりこう長が200mを超え、電気使用場所内に設けた変圧器から供給する場合、電圧降下7%以下にすることができるとなっています。</p> <p>ところが、電気事業法施行規則第38条『法第二26条第1項 (法第27条の26第1項 において準用する場合を含む。次項において同じ。)の経済産業省令で定める電圧の値は、その電気を供給する場所において次の表の上欄に掲げる標準電圧に応じて、それぞれ同表の下欄に掲げるとおりとする。』によると、『標準電圧100Vの場合、101Vの上下6Vを超えない値を維持する』と規定されています。</p> <p>そこで、前述の内線規程条項により100Vの電圧降下を7%にした場合、電気事業法施行規則の「101Vの下6V」を超えてしまうと思われ ます。</p> <p>当該内線規程条項を適用しても問題ないのでしょうか？ どのように解釈すれば良いのかご教授願います。</p> <p>以上、よろしくお願いいたします。</p>	需要設備 専門部会 より回答	JESC規格 内容問合 せ

番号	日付	質問者所属	質問対象規格	質問内容	回答	備考
3.	4/21	大成設備株式会社	JESC E0003 発変電規程	<p>発変電規程の第1-2条適用範囲に自家用電気工作物の受変電設備（具体的には一般ビルや工場等の受変電設備）が該当するかご教授ください。</p> <p>1-2条1項に「…これらに準ずる場所…自家用電気工作物に適用する」とあり、用語の定義の解説（26）や第1-3-3図からすると該当するように読めます。</p> <p>しかし用語の定義の解説（26）のただし書きには「電技解釈21条に定められた高圧配電用変圧器の施設場所は、慣例的に…また「これに準ずる場所」にもならない」と記載されており、ただし書きからすると該当しないと読めます。</p> <p>該当する場合、一般ビル等の受変電設備が「変電所」と同じ規程となるため違和感があったので、質問させて頂きました。</p>	発変電専門部会より回答	JESC規格内容問合せ
4.	4/28	個人	JESC E0005 内線規程	<p>気象統計の温度を用いて、ケーブルの設計の為の周囲温度をどの様に、算出するかを、お教え願います。</p> <p>インターネットで横須賀市 消防局で検索をかけ、横須賀市消防局 気象観測情報を開くと、気温の日報、月報、年報等があります。例えば、2016年8月9日の12：50の温度38.5℃が最大温度であることや、2016年8月の朝晩を含めた平均温度は27.7℃など色々なデータがあります。</p> <p>これらのデータをどの様に、用いれば良いのでしょうか？</p> <p>マンションのバルコニーに置かれた室外機へのケーブルには直射日光が当たります。</p> <p>貯湯ユニットは内廊下脇の小部屋に密閉されています。内廊下は冷房されていません、単に屋上の空気です。それ故に、夏は内廊下そのものが、非常に暑く、貯湯ユニットの小部屋は貯湯ユニットからの放熱が加算されて、更に暑いのです。</p> <p>このような場合、ケーブルの周囲温度をどの様にきめるのでしょうか？宜しくお願い致します。</p>	需要設備専門部会より回答	JESC規格内容問合せ

番号	日付	質問者所属	質問対象規格	質問内容	回答	備考
5.	5/10	株式会社東京エネシス	JESC E0012 変電所等における防火対策指針	『P. 37 注水式消火設備 j. 電源 (a) 電源は常用と予備とを設ける。』との記載があるが常用とはどのような電源を指すのか。(例えば、設置者が非常用発電機でも常用と言えば常用になるのか) お手数ですがご教授願います。	発電電専門部会より回答	JESC規格内容問合せ
6.	5/12	株式会社山道設備設計事務所	JESC E0005 内線規程	屋上電路について、ケーブルを収める方法として電技では「堅ろうな管」「トラフ」「ケーブルラック」とありますが、室外機冷媒管保護に使用されているスリムダクトを使用して屋上設備機器の配管類を統一させて見栄えを良くしたいとの施主様の要望があり、これが電技の基準に対して問題無いかご教示下さい。 尚、屋上には室外機その他、キューキュービクル・発電機も設置されており、繰り返しになりますがそれらの屋上に走る全ての配線を統一した形で、このスリムダクトに収め、外観を良くしたい施主様の要望です。	需要設備専門部会より回答	JESC規格内容問合せ
7.	5/24	ダイキン工業株式会社	JESC E0019 系統連系規程	[JEAC9701-2016]の[発電設備等設置者保護装置(低圧連系)構成例]114ページにて、系統連系インバータの回路構成に関連した図2-2-35「保護装置構成例」を調査しているのですが、この中でD点のブレーカの設置理由が分かりません。 1. D点のブレーカの設置理由をお教え願えないでしょうか? 2. D点のブレーカを[G1, G2点]⇔[自立運転用負荷]の間に移設することは可能でしょうか? 以上、よろしくお願い致します。	系統連系専門部会より回答	JESC規格内容問合せ



番号	日付	質問者所属	質問対象規格	質問内容	回答	備考
8.	6/9	アンドリッ ツ株式会社	JESC T/W0005 発電用火力設 備規格	貴会から発行されております下記の図書を購入し、使用していま す。 発電用火力設備規格 基本規定、詳細規定（JSME S TA0, 1, 2-2012, 2015）についての質問です。 どうしてもページ数が多いため、” ページ内検索” をしたいのです が、紙ベースですと” ページ内検索” ができません。 特に、第二章 材料の許容応力表にて特定の材料を探す際には苦慮 します。 つきましては、PDF版をいただくことはできませんでしょうか。 ご質問先が違いましたら大変失礼します。	発電用火 力設備規 格委員会 より回答	その他問 合せ （JESC規 格入手問 合せ）
9.	6/15	田淵電機株 式会社	JESC E0019 系統連系規程	先程は、電話対応有難うございました。 規定の最新版(2016年)を確認し、社内の質問事項を取りまとめお 送り致しますので、宜しくご指導ください。 尚、ご回答は最初だけでもお会いして直接ご説明していただけると 助かりますが如何でしょうか。 ご都合の良い日をご指定していただければ、お伺いいたします。	系統連系 専門部会 より回答	JESC規格 内容問合 せ
10.	6/23	個人	JESC E0005 内線規程	家電品等において、「必ず接地をすること」と「場合によっては接 地しなくてもよい場合があるのか」私の理解では、接地用端子がつ いている家電品はすべて接地が必要と理解していますが、技術基準 上はどのようになっていますかご教授よろしくお願ひいたします。	需要設備 専門部会 より回答	JESC規格 内容問合 せ
11.	6/29	株式会社産 研設計	JESC E0005 内線規程	軽量鉄骨間仕切壁にボックスを省略してコンセントを取り付ける施 工についてお伺いします。 IE線を保護管(PF管)に収めた隠ぺい配管をコンセントの直近まで持 っていき、コンセントと接続する最小限の長さの箇所のみIE線で行 うことは認められるのでしょうか？ 尚、壁内は断熱材等は無くIE線と接触する恐れが無いケースです。 よろしくお願ひします。	需要設備 専門部会 より回答	JESC規格 内容問合 せ

番号	日付	質問者所属	質問対象規格	質問内容	回答	備考
12.	7/5	個人	JESC E0005 内線規程	LED照明器具は、100Vで現状設置されていますが、LEDの発光部の消費電力が小さいため、1つの電源装置で、複数のLED発光部（照明装置）を点灯させる場合、電源装置から、各LED照明器具まで、直流の配電となります。このとき、直流で建物内を配線するとき、守らなければいけない、規則、基準等あれば、おしえていただきたい。（目的は電源装置を、少なくして、コストを下げる）例えば、1つの部屋の20台程度のLEDを、1つの電源で電源供給したり、さらに、建物の電気室からすべてのLEDの電源を直流で配電する場合。	需要設備 専門部会 より回答	JESC規格 内容問合せ
13.	7/13	ダイキン工業株式会社	JESC E0019 系統連系規程	<p>先日は問い合わせに対応して頂き、誠にありがとうございました。この度は系統連系インバータのFRT要件とUVRの動作に関して質問させて頂きたいことがあり、ご連絡を差し上げました。ご回答頂ければと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・想定する系統連系インバータは低圧配電線（200V）のガスエンジン発電設備（三相）です。</li> <li>・FRT要件上では、0.3秒を超える瞬時電圧低下に対しては系統連系インバータは解列かつゲートブロックで対応するように図示されています。（[JEAC9701-2016 図2-3-16]）</li> <li>・UVRの動作は、検出時限(0.5～2.0秒)以内の電圧低下に対しては系統連系インバータは運転継続またはゲートブロックで対応するように記載されています。（[JEAC9701-2016 表2-2-8]と[JEAC9701-2016 P51「瞬時電圧低下対策(a)」]</li> <li>・たとえば0.3秒を超えUVR検出時限以下の間継続する電圧低下が発生した場合、系統連系インバータはどのように対応すればよろしいでしょうか？</li> </ul> <p>以上、お手数をお掛けしますが何卒、ご回答のほどよろしくお願い致します。</p>	系統連系 専門部会 より回答	JESC規格 内容問合せ
14.	7/18	富士通株式会社	—	7月26日に開催される委員会の傍聴を希望します。 よろしくお取り計らいの程、お願い申し上げます。	傍聴受付	その他問 合せ

番号	日付	質問者所属	質問対象規格	質問内容	回答	備考
15.	7/21	個人	JESC E0005 内線規程	住宅に配線するVVF芯線直径1.6mm 2芯の許容電流は以下の条件の場合、内線規程1340-2表とその備考1を参照して19Aと考えますが、この解釈で正しいでしょうか？お教え願います。もし上記が正しくないなら、正しい許容電流の算出方法をお教え願います。 条件1. 周囲温度は30℃以下とします。 2. VVFケーブルの全長は8から10mでその一部に下記のように、電線管を用いています。 3. 防火区画貫通処理部1から1.5m、両端は耐火パテで密封 4. 屋外1から1.5m、両端はビニールテープで密封 以上よろしくお願ひ致します。	需要設備 専門部会 より回答	JESC規格 内容問合せ
16.	8/18	Z T T 日本 事務所	JESC E0005 内線規程	4K, 8K対応のTV接続ケーブルが有りますがそのなかの S-2C-FBの規格を調べても見つかりません。是非規格を教えてください。宜しくお願ひ致します。	需要設備 専門部会 より回答	JESC規格 内容問合せ
17.	9/5	カワイ電線 株式会社	JESC E0005 内線規程	電線管の占有率ですが、絶縁電線は占有率32%以下となっていますが、ケーブルの場合も同様に適用して良いのでしょうか？ なお、資料1-3-3 VVケーブルを電線管などに収めた場合の許容電流の所では電線管の選定は占有率が40%以下になる最小電線管とされています。	需要設備 専門部会 より回答	JESC規格 内容問合せ
18.	9/20	電気技術開 発株式会社	JESC E0005 内線規程	内線規程の「溶接機N台の場合の連続電流」について【 $I=I\sqrt{[Na(1-a)+N^2a^2]}$ 】を近似して【 $I=NI\sqrt{a}$ 】とする導出について教えてください。いただけますでしょうか。	需要設備 専門部会 より回答	JESC規格 内容問合せ
19.	10/31	トーヨーカ ネツ株式会 社	JEAC 3712 アンモニア設 備規程	いつもお世話になっております。御社から発行されております「アンモニア設備規定 JEAC 3712-2013」P122頁下から数えて13行目 一般則例示基準16より 一般則例示基準ないし特定則例示基準での適用年度がございましたらご教受願います。 J I S B 8 2 1 3 ボイラー反射式水面計 J I S B 8 2 1 5 ボイラー透視式水面計です。 よろしくお願ひいたします。	火力専門 部会より 回答	その他問 合せ

番号	日付	質問者所属	質問対象規格	質問内容	回答	備考
20.	10/31	トーヨーカ ネツ株式会社	JIS B7505 アネロイド型 圧力計	日頃お世話になっております。 一般則例示基準13に記載のJIS B7505(1994)は、廃版となっております、これに対応する適用規格と年度版は何になるのかご教授をお願いいたします。	火力専門 部会より 回答	その他問 合せ
21.	11/2	中電プラン ト株式会社	TNS-S3101- 2011 電気工作物の 溶接部に関する 民間製品認 証規格	「電気工作物の溶接部に関する民間製品認証規格（火力）」（TNS-S3101-2011）の改訂と「電気事業法第52条に基づく火力設備に対する溶接事業者検査ガイド」への引用要請についての改訂内容	公衆審査 資料を送 付	公衆審査 資料請求
22.	11/8	東洋エンジ ニアリング 株式会社	JESC E0003 発電電規程	第1項は電技解釈第38条をもとにされていると思いますが、電技解釈には「地表上の高さは、1.5m以上とすること」という記述はないと理解しております。発電電規程において1.5mと定められた理由についてご教示頂きたく、宜しくお願い致します。	発電電専 門部会よ り回答	JESC規格 内容問合 せ
23.	11/13	日立三菱水 力株式会社	JESC E0003 発電電規程	第5-13条 1. 【解説】 11. 安全弁の取付箇所の中で、圧力源が圧油ポンプのみである場合、圧油ポンプに近接して設けてもいい」と言うような内容になっていますが、圧油ポンプ安全弁で代用できると考えてよろしいでしょうか？ ちなみに、水力発電所向けの圧油装置です。 2. 圧力容器構造規格では、タンクに安全弁を設けることが記載されていますが、どちらが優先されるのでしょうか？ 3. 2. が発電電規定の場合、タンクはボイラ協会の立会いが必要となりますが、試験はパスできるのでしょうか？ 宜しく申し上げます。	発電電専 門部会よ り回答	JESC規格 内容問合 せ
24.	11/14	SOMPOリス ケアマネジ メント株式 会社	JESC T0007 電気工作物の 溶接部に関する 民間製品認 証規格	お世話になります。 (2)「電気工作物の溶接部に関する民間製品認証規格（火力）」の改訂と「溶接事業者検査ガイド」への引用要請についての関連資料を閲覧したく、E-mailでの送付頂けないでしょうか。よろしくお願 い致します。	公衆審査 資料を送 付	公衆審査 資料請求

番号	日付	質問者所属	質問対象規格	質問内容	回答	備考
25.	11/15	富士通株式会社	—	12月5日に開催される「第94回日本電気技術規格委員会」の傍聴を希望します。 よろしくお取り計らいの程、お願い申し上げます。 なお、議題の(4)部分の傍聴をお願いしたいと考えており、参加は15時以降からで考えています。	傍聴受付	その他問合せ
26.	11/20	株式会社精器商会	JESC E0017 配線用合成樹脂結束帯 JESC E0018 配線用合成樹脂結束帯の施工方法	弊社客先より、上記適合認定品の製品を納入願いますと依頼を受けましたが、配線用合成樹脂結束帯メーカー様に確認したところ、「適合品」「規格品」という言葉はいただきましたが、「認定品」という言葉はありませんでした。 貴社では、上記の規格を認定するという事はあるのでしょうか、また、あれば認定番号等は発行されるのでしょうか。大至急、教えてください。*メーカー各社様の自主宣言的なものでしょうか。	個別施設設備専門部会より回答	JESC規格内容問合せ
27.	12/15	テレコムエンジニアリグ株式会社	JESC E0005 内線規程	(プラグ付きコード及び延長コードのモール(合成樹脂製又は金属製)へ収納配線の可否について問い合わせ) 小型の壁掛け扇風機にはプラグ付きの電源コードがあります。そのコードをモール(合成樹脂製又は金属製)に入れて、壁面のコンセントまでは配線することは技術的に問題はないのでしょうか？ また、配線長が不足するため延長コードを使用しそれをモール(合成樹脂製又は金属製)に入れることはどうでしょうか？ コード類をモールで固定して使用することは、許容されているショウウインドー、ショーケースまたはこれらに類するものの内部配線には該当しないようにも考えますが、いかがでしょうか？ 壁掛け扇風機などのコード類の配線はたれ下げた配線も不安定なように考えますが、どのような方法をとればよいのでしょうか？ お忙しいと折、申し訳ございませんがご教示いただきたくお願い申し上げます。	需要設備専門部会より回答	JESC規格内容問合せ

番号	日付	質問者所属	質問対象規格	質問内容	回答	備考
28.	2/2	ジョンソン コントロールズBE ジャパン	JESC E0005 内線規程	制御盤の内部で使用される電線にかかわる規則について教示願います。1100-1にて配電盤、分電盤の定義とともに制御盤も定義されているため、配電盤とな異なる扱いとなっています。同定義の配線で配電盤や分電盤は機械器具として扱われていますが、制御盤が含まれておらず回路の一部なのか機械器具扱い相当するのか、あるいは現状では特に規則がないのか知りたい。 経産省への質問かもしれないが、理由としては、制御盤内部にIECによる絶縁電線を使用して法令上問題ないか確認したいため。電技解とIECでは絶縁電線の耐電圧の試験方法が異なり同等とは言えないと言われているが、JIS B9960-1 12-3にて電線に対しIECの耐電圧方法が記載されているためです。	需要設備 専門部会 より回答	JESC規格 内容問合せ
29.	2/2	株式会社日立 パワーソリューションズ	JESC T0007 電気工作物の 溶接部に関する 民間製品認証規格 (火力)	貴発行のパブリックコメント受付広告（日電規委29第0025号）での当該規格の改訂及び溶検ガイドへの引用要請についての関連資料をメール送信頂きたいとお願い致します。 本件、規格及び運用方法変更後の対応について事前検討用として活用したく依頼するものです。	公衆審査 期間外で ある旨回答	その他問 合わせ
30.	2/6	日東工業株式会社	JESC E0005 内線規程	中性線欠相保護付が義務化されましたが、客先より重要設備のため中性線欠相保護をなしとして分電盤を製作してほしいと依頼があった場合は内線規程に抵触するがどのような対応をしたらよいのでしょうか？	需要設備 専門部会 より回答	JESC規格 内容問合せ
31.	2/9	株式会社創電	JESC E0005 内線規程	誘導電動機の過電流遮断器の開閉器容量ですがじか入れ始動よりスターデルタ始動の方が電流容量大きくなっている何故でしょうか、以前の表ではスターデルタ始動の方が小さくなっています。	需要設備 専門部会 より回答	JESC規格 内容問合せ
32.	2/9	株式会社エヌエフ回路 設計ブロック	JESC E0019 系統連系規程	日電規委29第0037号 平成30年1月18日付けにて、公告されております内容の (1)「系統連系規程」(JESC E0019)の一部改定についての関連資料の閲覧を致したく、問い合わせさせて頂きました。 電子メールでの資料のご送付が可能でしたら、電子メールでのご送付を希望致します。 よろしくお願ひいたします。	公衆審査 資料を送付	公衆審査 資料請求

番号	日付	質問者所属	質問対象規格	質問内容	回答	備考
33.	2/21	個人	JESC E2018 高圧架空電線路に施設する避雷器の接地工事	私は第1種電気工事士定期講習の講師をしています。自家用電気工作物の受電点に設置するSOG開閉器に内蔵または外付けする避雷器の接地抵抗は10Ω以下であると判断していますが、貴委員会規程を基に500kW未満では30Ω以下で良いことになったという講師がいます。その言い分は除外事項には500kW以上とあるので、それ未満は30Ω以下で良いというのですが正しいですか？SOG開閉器は架空電線路ですか？避雷器と開閉器本体の接地は共通接地ですが、切り離して、避雷器は30Ω以下、本体は10Ω以下というのは考えられません	配電専門部会より回答	JESC規格内容問合せ
34.	2/26	攝津電機工業株式会社	JESC E7001 電路の絶縁耐力の確認方法	交流3300Vの電路に使用するケーブルの耐圧試験を一度、直流電圧10350V 10分間で行いました。その後、ケーブル接続先を変更するときに再度耐圧試験を行う場合は常規対地電圧3300V（直流電圧6600V）で10分間印加すると解釈することは可能でしょうか	発変電専門部会より回答	JESC規格内容問合せ
35.	3/13	中国電力株式会社	JESC E7001 電路の絶縁耐力の確認方法	3.1 特別高圧の電路の絶縁耐力の確認方法(3-1-1表) お問い合わせ内容 = ケーブル(CV)においてJEC-3408の「6.1または6.2」および「7.1」に準ずる・・・とありますが、「7.1または7.2」および「8.1」の誤りではないでしょうか。	送電専門部会より回答	JESC規格内容問合せ
36.	3/14	住友重機械工業株式会社	JESC W0001 電気工作物の溶接の技術規格	既に廃止された規格である事は承知ですが、電気工作物の溶接の技術規格 [JAPEIC-W-W04(2001追補版)] を入手もしくはPDFを閲覧要望	溶接専門部会より回答	その他問合せ (JESC規格入手問合せ)
37.	3/22	一般社団法人電気協同研究会	JESC Z0004 電力制御システムセキュリティガイドライン	一般社団法人電気協同研究会 より出版を予定しております著作物に電力制御システムセキュリティガイドラインの内容より引用転載させていただくことについて、ご許可を賜りたく問合せさせていただきました。	情報専門部会より回答	その他問合せ

番号	日付	質問者所属	質問対象規格	質問内容	回答	備考
38.	3/22	個人	JESC E7001 電路の絶縁耐力の確認方法	3. 3絶縁耐力の確認方法 6600Vの場合 常規耐地電圧を電路と大地との間に連続して10分間加えて確認したときにこれに耐えること。 1、試験電源による電圧。 2、電路の(6600V)そのままの電圧。 1か2 どちらですか、教えてください。	送電専門 部会より 回答	JESC規格 内容問合せ
39.	3/22	メタウォーター株式会社	JESC E7001 電路の絶縁耐力の確認方法	電路の絶縁耐力の確認試験方法の3ページ 「常規対地電圧を電路と対地との間に連続して10分間加えて確認したときにこれに耐えること」 との記載がありますが、確認とは具体的に何を実施したことを示すのでしょうか？ 以下のどちらになるのでしょうか？ ・受電して異常（異音、異臭）がないこと ・受電後に再度停電し、絶縁抵抗測定を実施し規定値以上であること 回答の程、宜しくお願い致します。	送電専門 部会より 回答	JESC規格 内容問合せ



## 参考-1 各専門部会における平成29年度の実績

### 1. 水力専門部会（1回）

JESC H3004「水路に使用する樹脂管（一般市販管）及びその許容応力」が制定から5年を経たため、見直し作業を行った。その結果、引用JIS規格等が改定されていることが確認されたので引用されている規格類の最新年版の取り込み等を行うことの承認を行い、JESCに上程した。

### 2. 火力専門部会（1回）

- (1) 「発電用ガスタービン規程」（JESC T0004（2013））の改定案の審議を行い、JESCに上程することになった。
- (2) 「火力発電所の計測制御規程」の改定案の審議を行った。
- (3) 「アンモニア設備規程」の改定案の審議を行った。
- (4) 発電用火力設備の技術基準改正に係る検討を行い、火技解釈に引用されている規格類の最新年版の取り込み等を行うことの承認を行い、JESCに上程することになった。

### 3. 原子力発電耐震設計専門部会（休会）

具体的な計画はなく休会している。

### 4. 送電専門部会（1回）

- (1) 「電力保安通信規程」（JEAC 6011 - 2013）の改定案について、専門部会で承認し、JESCに上程した。
- (2) 「架空電線路の支持物に施設する支線へのワイヤロープの適用」（JESC E3003（2002））及び「橋又は電線路専用橋等に施設する電線路の離隔要件」（JESC E2016（2006））の改定案について、専門部会で承認し、JESCに上程した。
- (3) JESC運営要領に基づき、平成28年度に定期確認した以下のJESC規格について、専門部会で審議し、JESCに上程した。
  - ・「特別高圧架空電線路に使用する鉄塔の径間制限」（JESC E3003（1998））
  - ・「特別高圧架空電線路を市街地等に施設する場合の施設要件」（JESC E2010（2000））
  - ・「電線の安全率算定に適用する風圧荷重」（JESC E2013（2004））
  - ・「地中電線用管路の接地に関する取り扱い」（JESC E6006（2004））
  - ・「地中電線と地中弱電流電線等を直接屋内に引込む場合の相互の離隔距離」（JESC E2009（1999））

5. 発電専門部会（1回）
  - (1)「発電規程」（JEAC 5001 - 2012）の改定案について、専門部会で承認し、JESCに上程した。
  
6. 配電専門部会（1回）
  - (1)「配電規程（低圧及び高圧）」（JEAC 7001(2012)）の改定案について、専門部会で承認し、JESCに上程した。
  - (2)「橋又は電線路専用橋等に施設する電線路の離隔要件」（JESC E2016（2006））の改定案について、専門部会で承認し、JESCに上程した。
  
7. 需要設備専門部会（1回）

「自家用電気工作物保安管理規程」（JESC E0021）の改定検討に着手し、分科会及び小委員会で検討を行った。
  
8. 高調波抑制対策専門部会（1回）

「高調波抑制対策技術指針」（JEAG 9702(2013)）の定期改定作業活動計画について審議し、平成30年度開催の専門部会にて改定案に審議をすることを承認した。
  
9. 系統連系専門部会（1回）
  - (1)下記の「系統連系規程」（JESC E0019(2012)）の改定案について、専門部会で承認し、JESCに上程した。
    - ・自動電圧調整装置の機能例の追加
    - ・新型能動的方式に係る規定の追加
  
10. 水門扉専門部会（休会）

具体的計画はなく休会している。
  
11. 水圧鉄管専門部会（1回）

FRP（M）水圧管技術基準改訂のため、WGにおいて必要な検討を行った。
  
12. 溶接及び接合専門部会（休会）

具体的計画はなく休会している。
  
13. 溶接専門部会（2回）

火技解釈第10章「溶接部」の改正要請等に係る4件の検討結果を審議し、2件については書面投票を実施した。なお、火技解釈第10章の「溶接部」に係るJESCへの改正要請について、1件の検討課題について上程した。

14. 個別施設設備専門部会（休会）

具体的計画はなく休会している。

15. 情報専門部会（0回）

必要に応じて活動することになっていたが、実績はなかった。

## 参考-2 平成29年度の電気事業法の技術基準の改正情報

1. 「ポリ塩化ビフェニルを含有する絶縁油を使用する電気工作物等の使用及び廃止の状況の把握並びに適正な管理に関する標準実施要領（内規）」の一部改正について

(2017年4月28日)

「微量PCB含有電気機器課電自然循環洗浄実施手順書」の改正に伴い、「ポリ塩化ビフェニルを含有する絶縁油を使用する電気工作物等の使用及び廃止の状況の把握並びに適正な管理に関する標準実施要領（内規）」が一部改正された。

2. 「電気設備の技術基準の解釈」の一部改正について

(2017年8月14日)

「電気設備の技術基準の解釈」について、以下の一部改正が行われた。

- (1) 燃料電池発電設備や蓄電池に関する対地電圧と接地工事内容の変更
- (2) 太陽電池発電設備の標準仕様の明確化
- (3) IEC 60364 規格の制改定への対応
- (4) 電技解釈で引用している JESC 規格の最新版への更新

3. 主任技術者制度の解釈及び運用（内規）などの一部改正について

(2017年8月24日)

「主任技術者制度の解釈及び運用（内規）」及び「電気主任技術者制度に関するQ&A」について、一部改正が行われた。

4. 洋上風力発電設備に関する技術基準の統一的解説について

(2018年3月30日)

「洋上風力発電設備に関する技術基準の統一的解説」が策定された。本統一的解説は、港湾区域に設置される着床式洋上風力発電設備について適用される各種基準（電気事業法に基づく発電用風力設備の技術基準、港湾法に基づく公募対象施設等の基準及び港湾の施設の技術基準）を、統一的考え方に従って解説したものである。